



引っこしてきた外国の人と日本人との近隣トラブルである。なぜこのようなトラブルが起きてしまうのか考えてみてほしい。私は、言葉も文化も異なり、困っていても助けを呼べない人達のSOSサインだと思う。外国人もなんとかやれる。私達には関係ない。と言って手を差し伸べようとしていない人達と深いみぞができてしまうのではないだろうか。そこで私達日本人と異なる行動をしていたら「めいわく」「困る」などの言葉を発してしまおうのだ。

私達学生は、国際理解を深

めていく事が充分にできる。そして、国際交流もたくさんできる機会がある。正しい知識と理解、交流を深める人が「グローバル」な人材なのである。

グローバル人材育成 事業に参加して

日和佐中学校 和佐綾香

「私たちって何でラッキーなんだろう。」台風10号が関西国際空港を直撃する予報だから、もう一泊ケアンズに滞在することになったと、美波町の川西さんから聞いた時私は心躍りしました。なぜなら、あと一週間ぐらい関空の上空で台風が居座って欲しいと思った程です。それぐらい私にとつてのケアンズの八日間はたのしく、あつという間でした。

「町の事業で行かせてもらえないんやから、行ってきたら。」との母の言葉になんとなく納得して応募した時は、「ケアンズって遠いなあ、人と英語で聞いたり答えたり、私に出来るかな。」と思っていました。ところが、「これは行ってみたいと分らないよ。」という父の言葉どおりに行ってみたら、ホームステイ先の家族は本当の家族のように私達に接して



くれました。日本との違いは沢山ありましたが、家族の温かさは、同じなんだと実感しました。それが、今回の事業に参加させてもらったことで、一番心に残っています。

またトリニティベイハイスクールの皆が私達にとっても親しく、優しく接してくれたことが、嬉しかったです。スクールのみんなと二日間、一緒に活動しました。カルタをしたり、ピザを一緒に食べたり、カップケーキを焼いたりしました。そこで感じた事は、初対面で気を使い過ぎるより、気易く笑顔で話しかけることが早く打ちとけるコツだと思いました。また、スクールのみんなは日本の中学生より自由で縛られていないと感じました。私にとって海外は遠い

もの、別世界の特別な人ものと思っていました。今回の経験でとても近いもの、同じ世界を生きている友達に変わりました。こんな貴重な経験をさせてもらってとても有り難いと感じています。これからは、海外と言っても物怖じすることなく色々な経験をして交友関係を広げる人材になりたいと思います。

初めてのケアンズ

由岐中学校 川西萌依

今年、初めてのケアンズです。日本と何が違うのかを調べました。行きたかった理由は、姉二人がケアンズに行った経験があつて帰ってきたらケアンズで楽しかったことを



話してくれたので私も、行きたいなと思いました。初めての外国なので緊張しました。英語の発音や理解ができるようにしなきゃ何を話せばいいのか分かりません。ケアンズについてケアンズは、日本より一時間早いのがわかりました。ケアンズは、南半球なので日本より朝と夜が寒いです。ケアンズは、車やバスでシートベルトをしなければならぬ、日本では、運転席と助手席だけシートベルトをします。けれど、ケアンズでは、運転席、助手席、後もシートベルトをしなければならぬ法律があります。

みんなと水族館やショッピングや動物園などに行ったりして楽しかったです。ホームステイでは、家族のみなさんはとても優しくかったです。一緒にショッピングや動物園にも行きました。動物園では、いろんな動物がいてとてもすごいかわいかったです。ケアンズは、日本の動物園にいない動物がいました。ワニやカンガルーなどにあえてうれしかったです。ほかにも、モモンガやコウモリがいてすごいと思いました。

ケアンズに行ってみてすごい経験をしたのでとてもうれしかったです。また、英語が